

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岡山医療福祉専門学校
設置者名	学校法人ベル学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護師3年課程	看護学科(新カリキュラム)	夜・通信	63単位	9単位	
	看護学科(旧カリキュラム)	夜・通信	56単位	9単位	
社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	998時間	160時間	
		夜・通信			
(備考) 看護学科…新カリキュラム: 1.2年生、旧カリキュラム: 3年生					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山医療福祉専門学校
設置者名	学校法人ベル学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	病院院長	令和4年3月17日～令和6年3月16日（2年間）	当学園の運営における教学面に関する助言・指導
非常勤	他の学校法人役員		
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山医療福祉専門学校
設置者名	学校法人ベル学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校教育理念、教育目的を基盤に作成する。 ・看護師養成指定規則及び介護福祉士養成指定規則により、科目名・単位数・時間を決定、授業計画・臨地実習要項を作成し、厚生労働大臣及び岡山県知事の承認を得ている。 ・授業計画(シラバス)は、科目ごとに、教育(講義)目標、講義内容、使用テキスト、評価方法等について学科長と専任教員で協議し作成する。 ・非常勤講師の授業計画は、本校で原案を作成し、非常勤講師と協議のうえ作成する。 ・学生の成績評価や国家試験問題等を参考に、教務会議で協議のうえ、次年度の授業計画を修正し作成する。 ・成績評価は、筆記試験、演習、提出物等に基づき、各教科100点満点で評価する。 ・授業計画(シラバス)は毎年3月迄に作成し、4月の年度開始時に公開する。 	
授業計画書の公表方法	<p>HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則「第4章教育課程および単位の履修」の規定に従い、科目の単位認定、成績評価を行う。 ・評価を受ける資格は、講義時間の3分の2以上の出席と学習状況により認める。 ・試験は60点以上を合格点とし、合格点に達しなかった科目について再試験を行い、やむを得ない理由により試験を受けられなかった者には追試験を行う。 ・評価の基準は、細則「第3章成績評価、単位及び進級の認定」の規定により、 優……80点以上 良……70点以上80点未満 可……60点以上70点未満 不可…60点未満 としている。 ・再試験は1科目1回のみ実施している。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績結果は、各教科100点満点で採点する。 ・評価の基準は、細則「第3章成績評価、単位及び進級の認定」の規定により、 優……80点以上 良……70点以上80点未満 可……60点以上70点未満 不可…60点未満 としている。 ・各科目の最高点、最低点、平均点を算出のうえ、点数分布状況を把握し、学生に公表する。 ・学生個々の全科目の平均点により成績順位を算出し、看護学科は学年終了時に、介護福祉学科は学年の前期及び後期それぞれの終了時に、成績順位及び総科目平均点を公表する 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業の要件は、学則により、看護学科は修得単位数107単位以上、介護福祉学科は修得単位数100単位以上で、欠席日数が出席日数の3分の1を超えないこととしている。 ・教育計画において、卒業時における看護師、介護福祉士としての期待像を示している。 ・これらの卒業認定方針については、毎年度学生に配布する「学生便覧」により公表し、説明している。 ・卒業進級認定会議において、各学生の修得単位数及び出席時間数の確認を行うとともに、卒業時における看護師、介護福祉士の期待像に合致していることを確認のうえ、卒業を認定する。また、進級についても同様に行う。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岡山医療福祉専門学校
設置者名	学校法人ベル学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)
収支計算書又は損益計算書	HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)
財産目録	HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)
事業報告書	HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)
監事による監査報告(書)	HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療(看護)		看護師3年課程	看護学科 (新カリキュラム)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	107単位 単位時間/単位	68単位 単位時間/単位	14単位 単位時間/単位	25単位 単位時間/単位	107単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		257人	0人	13人	71人	84人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療(看護)		看護師3年課程	看護学科 (旧カリキュラム)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	103単位 単位時間/単位	68単位 単位時間/単位	12単位 単位時間/単位	23単位 単位時間/単位	103単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		257人	0人	13人	71人	84人	

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	社会福祉専門課程	介護福祉学科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,928時間 単位時間/単位	1,118時間 単位時間/単位	360時間 単位時間/単位	450時間 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,928 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	115人	16人	6人	19人	25人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校教育理念、教育目的を基盤に作成する。 ・看護師養成指定規則及び介護福祉士養成指定規則により、科目名・単位数・時間を決定、授業計画・臨地実習要項を作成し、厚生労働大臣及び岡山県知事の承認を得ている。 ・授業計画（シラバス）は、科目ごとに、教育（講義）目標、講義内容、使用テキスト、評価方法等について学科長と専任教員で協議し作成する。 ・非常勤講師の授業計画は、本校で原案を作成し、非常勤講師と協議のうえ作成する。 ・学生の成績評価や国家試験問題等を参考に、教務会議で協議のうえ、次年度の授業計画を修正し作成する。 ・成績評価は、筆記試験、演習、提出物等に基づき、各教科100点満点で評価する。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績結果は、各教科100点満点で採点する。 ・各科目の最高点、最低点、平均点を算出のうえ、点数分布状況を把握し、学生に公表する。 ・学生個々の全科目の平均点により成績順位を算出し、看護学科は学年終了時に、介護福祉学科は学年の前期及び後期それぞれの終了時に、成績順位及び総科目平均点を公表する。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業の要件は、学則により、看護学科は修得単位数103単位以上、介護福祉学科は修得単位数98単位以上で、欠席日数が出席日数の3分の1を超えないこととしている。 ・教育計画において、卒業時における看護師、介護福祉士としての期待像を示している。 ・これらの卒業認定方針については、毎年度学生に配布する「学生便覧」により公表し、説明している。 ・卒業進級認定会議において、各学生の修得単位数及び出席時間数の確認を行うとともに、卒業時における看護師、介護福祉士の期待像に合致していることを確認のうえ、卒業を認定する。また、進級についても同様に行う。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学時、基礎学力テストを実施し、習熟度により個別指導を実施している。 ・定期的に個人面接を行い、進路、学習、生活等指導相談を行っている。 <p><介護福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科における課題への取組み等について、個別面談及び個別指導を実施している。 ・介護実習では、事前・事後指導を含め個別指導を実施している。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） 看護学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
68人 (100%)	1人 (1.5%)	65人 (95.6%)	2人 (2.9%)
(主な就職、業界等) 病院（医療業界）			
(就職指導内容) 1年次より求人情報、病院見学情報等を提供している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） 介護福祉学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
55人 (100%)	0人 (0%)	55人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 福祉施設（介護業界）			
(就職指導内容) 卒業年次の早い時期より担任による個別面談を行い、個々の希望に合った就職先を斡旋している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士国家資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状 看護学科		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
257 人	21 人	8.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 授業態度、出席状況等を把握しながら、個人面談により早期に支援対応している。		

中途退学の現状 介護福祉学科		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
133 人	17 人	12.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 授業態度、出席状況等を把握しながら、個人面談により早期に支援対応している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	220,000 円	300,000 円	380,000 円	実験実習費、設備整備費、教育充実費
介護福祉学科	220,000 円	360,000 円	392,000 円	実験実習費、設備整備費、教育充実費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・学校関係者評価委員会は、本校の校長から委嘱を受けた本校の職員を除く次に掲げる委員をもって組織する。 学識経験者1名、高等学校関係者1名、業界団体関係者1名、卒業生1名 ・評価基準(教育理念等、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入募集、財務、法令等の遵守、社会貢献等)について実施する。 ・毎年度2月末までに評価結果及び改善意見等を取りまとめ、職務分掌ごとに分析及び改善策の検討を行い、改善に着手するとともに、次期の重点目標策定や評価の実施に反映させる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
本校監事	R5. 4. 1～R6. 3. 31 (再任可)	学識経験者
高等学校校長	R5. 4. 1～R6. 3. 31 (再任可)	高等学校関係者
介護福祉施設管理者	R5. 4. 1～R6. 3. 31 (再任可)	業界団体関係者
本校看護学科卒業生	R5. 4. 1～R6. 3. 31 (再任可)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPにて公表 (https://www.ifukusen.ac.jp/information/disclosure.html)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

HP アドレス

(<https://www.ifukusen.ac>)

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H133310000104
学校名	岡山医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 ベル学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		64人	58人	66人
内訳	第Ⅰ区分	31人	28人	
	第Ⅱ区分	20人	-	
	第Ⅲ区分	13人	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				66人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。